

ご存知ですか？

しつ ご しょう
失 語 症

失語症の正しい理解と接し方

言葉が話せなくなるの？

失語症ってなんだろう？

どう接したらいいの？

どこに相談すればいいの？



外出時に携帯できる
お願いカード付き



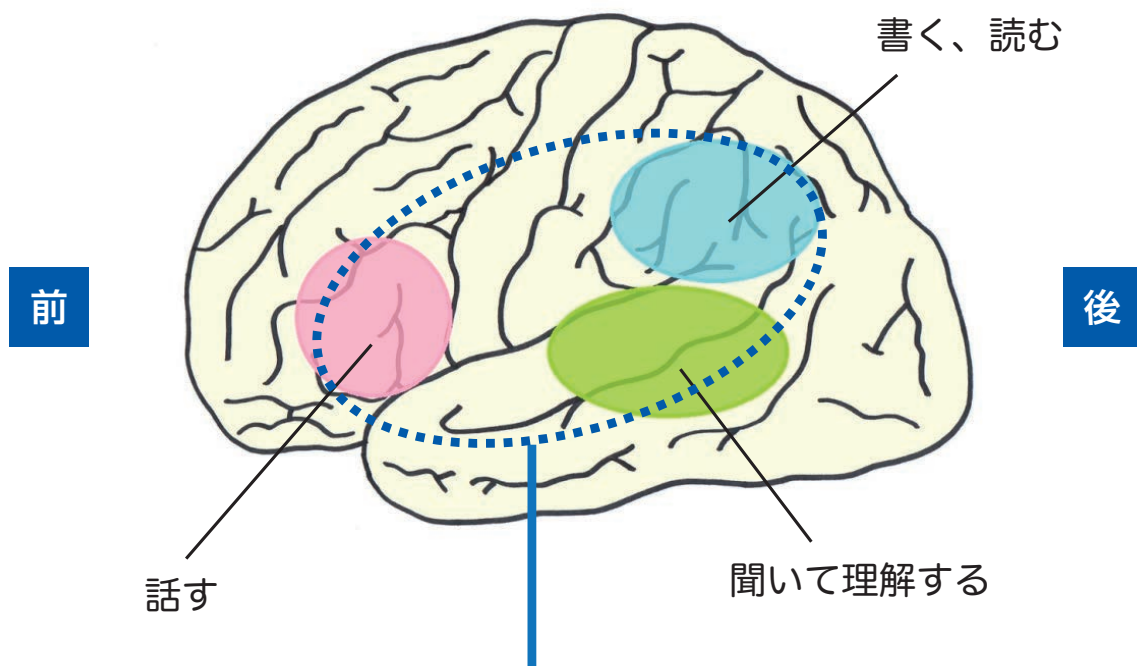
このパンフレットは、より多くの方に失語症に対する理解を深めていただくことで、失語症者がより良い社会参加をするための啓発を目的としています。

失語症とは



失語症は脳卒中や頭部外傷等で脳の言語中枢が損傷されることにより起こる言語障害です。

脳の言葉中枢（言葉をつかさどる部分）



多くの場合、脳の言語中枢は左脳にあり
広い範囲にまたがっています



「話すこと」「聞いて理解すること」「文字を読んで理解すること」「文字を書くこと」が不自由になります。



失語症は原則的に物事を考えることや判断する能力は保たれていて、多くの場合、状況に合った行動をとることができます。



目に見えない障害である失語症は周囲に理解されにくく、様々な場面で誤解を受けてしまうことがあります。そのため、本人や周囲の人々がコミュニケーションのストレスを抱えやすくなります。

失語症の主な症状



脳損傷の大きさや場所により、程度は異なりますが失語症になると以下のような症状がみられます。

話す

- ・ 言いたい事があるのに言葉が出てこない
- ・ 思った事と違う言葉が出てしまう
- ・ 言い間違いに気づかない
- ・ 回りくどい話し方になる
- ・ 同じ言葉を繰り返す



聞く

- ・ 耳は聞こえているのに言葉の意味が理解できない
- ・ 複雑な長い文は理解しにくい
- ・ 早口だと理解が追いつかなくなる



読む

- ・ 文字を読んで理解することができない
- ・ 漢字よりも仮名文字の方が理解しにくい



書く

- ・ 文字を思い出せない
- ・ 書き誤りがある



数・計算

- ・ 数字の言い誤り、聞き誤りがある
(日時、電話番号、金額、住所の番地など)
- ・ 桁数が多くなるほど理解も表現も難しくなる



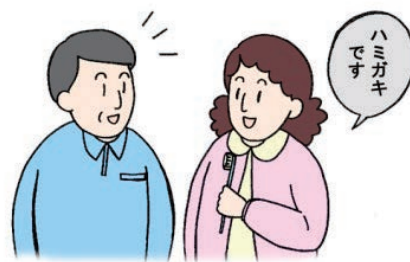
コミュニケーションの工夫



失語症は、聞き手のちょっとした配慮や工夫でコミュニケーションが取りやすくなります。以下の項目を参考にしてください。

話しかけるとき

- ・ ゆっくり、はっきり、短く、わかりやすい言葉で話す
- ・ 写真や絵、文字などを示す
- ・ 話題が変わるときは、はっきり伝える
- ・ 表情や身振り、指さしを活用する



話を聞くとき

- ・ 相手の表情や状況を見て、何を伝えたいのか推測する
- ・ 先回りしないで、ゆっくり、じっくり待つ
- ・ 文字（一部でも良い）や絵を書くように勧める
- ・ 実物やいろんな道具（絵・写真・カレンダー・地図など）を活用してみる
- ・ 「はい」「いいえ」で答えられる質問をする



- 例**
- × 「好きなスポーツは何ですか？」
 - 「野球は好きですか？」



お願いカードのご案内



失語症の方は、身体障害者手帳や下の写真のような手帳やカードを持っていることがあります。

お見かけの際は、ご支援をお願いします。



電話お願い手帳

(NTTグループ 発行)



失語症支援お願いカード

(横浜失語症会話パートナーを養成する会 発行)
ホームページ <http://shitsugosho.jimdo.com/>

<p>緊急支援をお願いします</p> <p>脳卒中の後遺症で失語症になり 話す・聞く・書く・読む ことが不自由です。</p> <p> 要点を漢字や数字で書いて下さい。 ゆっくり、短い文章で話して下さい。</p>	<p>? 詳しい情報や案内の内容を教えてください。</p> <p>どこですか?</p> <p> トイレ 駅 交番/警察 病院 避難場所</p> <p>名前: _____</p> <p>連絡先 ☎: _____</p> <p>NPO法人和音 http://npowaon.jp</p>
--	---

緊急支援お願いカード

(NPO法人 言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会 和音 発行)
ホームページ <http://npowaon.jp>

▼ お願いカード <切り取ってご活用ください> ▼

お願いカード

しつこしょう
私は失語症です

脳卒中や頭部外傷の後遺症のため
言葉が不自由です

名前: _____

住所: _____

電話番号: _____

その他の連絡先: _____

メモ

失語症と間違いやすい障害

構音障害

- ・麻痺などにより、言葉を話すときに使う舌・口唇などが上手く働かず、発音が不明瞭になる障害です。
- ・言葉や文字の理解には問題がないので50音表の使用や、筆談ができます。

失声症

- ・神経麻痺、ポリープ、腫瘍などの声帯の異常で起こります。また、こうした異常がみられなくても、精神的な原因で起こる場合は心因性失声症と呼ばれます。
- ・言語中枢の損傷ではないので、原因が取り除かれると再び声が出るようになります。

認知症

- ・思考力や判断力、記憶力が低下し、日常生活に支障を来たす進行性の疾患です。
- ・コミュニケーション障害を生じることがあります。

- ゆっくり、短く話してください。
- 「はい・いいえ」で答えられるように質問してください。

✕ 好きなスポーツは何ですか？

○ 野球は好きですか？



- 選べるように示してください。
- 文字(漢字)や絵で書いてください。

おにぎり？
それとも
パン？



相談機関や友の会のご紹介

保健所

医療・福祉で使えるサービスの相談等ができます。
お近くの保健所へお問い合わせください。

友の会

地域で失語症の方やご家族、ボランティアが定期的に集まり、
情報交換やレクリエーション等の活動をしています。
言語聴覚士も定期的に参加し、お手伝いをしています。

●北海道失語症友の会「北の会」～札幌市～

月1回、「失語症言葉の教室」を開催しています。

* Eメール kitanokai@jcom.home.ne.jp

* ホームページ <http://members3.jcom.home.ne.jp/kitanokai/>

●オホーツク失語症さわやか友の会 ～北見市～

月1回、北見などで開催しています。

* 電話/FAX 0157-24-8236 * Eメール hokkaidosaito@nifty.com

支援団体

●NPO法人日本失語症協議会 (旧 NPO法人全国失語症友の会連合会)

「孤立しがちな失語症者の仲間作りの為に」との思いで創設された友の会の連合本部です。
現在は失語症者が社会で「当たり前な生活」ができるように、福祉環境整備の為に活動しています。

* 〒203-0014 東京都東久留米市東本町5-25

* 電話 042-420-9427 * Fax 042-420-9428 * Eメール office@japc.info

* ホームページ <http://japc.info/>

●NPO法人失語症サロン いーたいむ

「失語症の方とご家族がよりよい生活を創造するお手伝い」をモットーに活動を行っています。
言語レッスンやことばのリハビリ教室(=こみりハ教室)を定期的に開催しています。
また、家族相談や施設等への出張レッスン、研修講師を承ります。

* 〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条16丁目1-8-913

* 電話 011-312-5422 * Fax 011-312-0964 * Eメール mail@salon-etime.com

* ホームページ <http://www.salon-etime.com>

●NPO法人地域リハ実践プロジェクト りらいふ

失語症のための言語ディサービス「アカシアの会」を、月2月回開催しています。
その他、ノーマライゼーションツアーや訪問活動もしております。

* 〒060-0061 札幌市中央区南1条西16丁目1-323 春野ビル3階

* 電話 011-558-0450 * FAX 011-558-0900

●NPO法人ゆずりはコミュニケーションズ パソコン工房ゆずりは

失語症者が働く作業所(就労継続支援B型)です。
失語症の方の訓練教材の通信販売を行っています。

* 〒167-0051 東京都杉並区荻久保1-20-15

* 電話/Fax 03-6383-5364 * Eメール p-yuzu@agate.plala.or.jp

* ホームページ <http://www.p-yuzu.com/>

(改訂版) 2015年10月発行

北海道緊急雇用創出推進委託事業

作成・発行



NPO法人失語症サロンイーたいむ



〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条16丁目1-8-913

電話 011-312-5422 Fax 011-312-0964

ホームページ <http://www.salon-etime.com>

印刷 株式会社アイテックサプライ